

ニュース

# 九州新幹線で広がる熊本の旅

## 県内観光支える“2次アクセス”、始動



▲パノラマ車両からは180度の景色が楽しめる。同列車は熊本―宮地間を約1時間半で結ぶ



▲ファミリー車両には木のボールを入れたプールも。子どもたちの歓声が上がる



▲出発前に写真を撮る乗客も多い。熊本駅で



カメラを携えた鉄道マニアらが待ち受ける中、立野駅に到着する「あそぼーい！」

### JR九州

九州新幹線の全線開業で県内観光が注目を集める中、各所で2次アクセスの整備が進んでいる。観光の目玉として期待される阿蘇では、JR九州が観光特急「あそぼーい！」の運行を開始、また天草では同「A列車で行こう」の運行開始を予定している。各車両には風情ある旅を演出するさまざまな趣向が凝らされているほか、バス、船などを活用した3次アクセスもあり、観光客が熊本の旅を楽しむ要素も充実してきたようだ。また新水前寺駅では市電と直結した連絡橋が完成し、熊本市圏への乗り継ぎ利便性も向上している。

### 特急「あそぼーい！」(熊本―宮地間)

豊肥本線・熊本―宮地間を走るJR九州の観光特急「あそぼーい！」がこのほど運行を始めた。同列車は来年2月末まで主に週末などに1日2往復を運行。車体は白と黒を基調としたディーゼル車の4両編成(定員127人、全席指定)で、車両は久大本線の「ゆふDX」を改良した。親子連れをターゲットに子ども部屋を備えた「ファミリー車両」を連結する、新タイプの観光列車でもある。立野駅で接続する南阿蘇鉄道のトロッコ列車や、産交バスなどが阿蘇地域で運行する観光バスといった3次アクセスとの連携にも期待がかかる。

### 特急「A列車で行こう」(熊本―三角間)

また10月8日には熊本―三角間(鹿児島本線・三角線)9月1日からあまくさみすみ線)を結ぶ観光特急「A列車で行こう」が運転開始を予定している。同列車は来年2月末まで主に週末などに1日2往復を運行。車体は「16世紀大航海時代のヨーロッパ文化」と「古き良きあまくさ」をコンセプトとしたディーゼル車の2両編成(定員84人、全席指定)。1号車にはカウンターパーが設けられるなど、魅力ある旅を提供する工夫を随所に凝らしている。三角からは(株)シークルーズが運行する三角港―本渡港間の定期航路「天草宝島ライン」と接続され、熊本―本渡港約1時間50分の列車と船による旅を楽しむことができる。なお、運行開始に合わせた三角駅のリニューアルも計画されている。観る、光客を迎える準備が着々と進んでいる。



▲リニューアルが計画されている三角駅の完成イメージ

▶10月8日デビューとなる「A列車で行こう」。JR九州の車両デザインを数多く手がける水戸岡鋭治氏がデザインを担当した



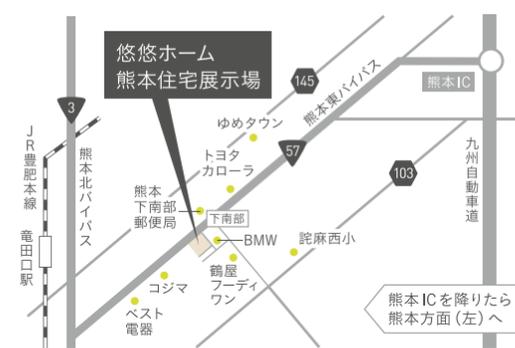
2011年9月17日(土) グランドオープン

地下室のある展示場

宿泊体験施設

# 福岡で人気の工務店 悠悠ホーム 熊本に初出店

外断熱・地下室・FFC 免疫住宅



悠悠ホーム株式会社  
http://www.yuyuhome.co.jp

【熊本営業所】熊本県熊本市西原3丁目3-26 TEL: 096-386-5520 FAX: 096-386-5527  
【本社】福岡県大野城市筒井4丁目4-17 TEL: 092-592-6995 (代) FAX: 092-592-6449 (代)